



TITLE:

表紙・投稿規定・プレプリント・  
編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・投稿規定・プレプリント・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究  
1977, 28(3): 113-121

ISSUE DATE:

1977-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/89359>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
昭和52年6月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第28巻 第3号

**vol. 28 no. 3**

# 物性研究

**1977/6**

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、また掲載はを拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

## 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するために原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方はProgress, Journalの投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。1頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷は原則として作りません。どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、現金で納入していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受けてから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

---

ニュース

---

[東京大学・物性研]

○人のうごき

4月24日                      Dr. P. M. Platzman 来 日

○談話会

4月18日

「Images of Electron-Hole Drops in Germanium」

Prof. J. P. Wolfe (Univ. of Illinois)

4月25日

「Renormalization Theory of Polymer Solutions」

Dr. J. des Cloizeaux (Centre d'Etudes Nucléaires de Saclay)

○土曜セミナー

4月23日

「スピン・ガラスの現象論」

鈴木 増 雄                      東大・理

[東京大学・教養物理]

○ニュース

連絡係      小玉祥生 → 長谷陽一郎                      (伊豆山研)

○セミナー

物性コロキウム

[東京大学・小出研]

○セミナー

5月11日

異方性結晶のバンド

石 川

東大・教養

5月18日

Spinel Chalcogenide のラマン散乱

腰 塚

電 総 研

---

プレプリント案内

---

[東大・理・物理・久保研究室]

- (16) 7. R. G. Lintz  
Measure and Integration in Non-Deterministic Analysis and Applications to Physics
- (17) 9. I. Riess, M. Fibich and A. Ron  
Relaxation in Spin Glasses
- (18) 9. Frank Servedio  
Forms, Their Orthogonal Groups, and Some Geometry
- (19) 9. Bruno J. Mueller  
Noncommutative Localization and Invariant Theory
- (20) 9. Tetsuji Nishikawa  
Initial Operation of KEK Accelerator
- (21) 11. William M. Visscher  
Theory of AC and DC Electric Conductivity by Noninteracting Electrons in Correlated Arrays of Fixed Scatterers
- (22) 12. Shinya Wakoh and Yasunori Kubo  
Spin-Dependent Momentum Distribution in Iron
- (23) 12. Junzo Chihara  
Radial Distribution Function for Hard-Sphere Fermions at Zero and Finite Temperatures
- (24) 16. Michael E. Fisher and Gunduz Caginalp  
Wall and Boundary Free Energies I. Ferromagnetic Scalar Spin Systems
- (25) 16. B. R. Handa and S. G. Mohanty  
On Dwass' Method for Deriving the Distribution of Rank Order Statistics
- (26) 16. Bruno J. Müller  
An Example in Non-Commutative Localization
- (27) 17. Daijiro Yoshioka  
Theory of the Anomalous Behavior of Giant Quantum Attenuation of Sound in Bismuth

- (28) 20. Kazumi Maki and Pradeep Kumar  
Composite Solitons and Magnetic Resonance in Superfluid  $^3\text{He-A}$ . II
- (29) 20. Kazumi Maki  
Creation of Soliton Pairs by Electric Fields in Charge-Density-Wave Crystals.
- (30) 20. Dieter Vollhardt and Kazumi Maki  
Depairing Critical Currents in Superfluid  $^3\text{He}$
- (31) 20. Akio Sakurai  
Effect of Anderson Magnetic Impurities on Superconductivity
- (32) 20. Yoshimasa, A. Ono  
On the Applicability of the Quasiparticle Transport Equation of Superfluid  $^3\text{He}$  at Low Temperatures
- (33) 20. B. I. Halperin and W. M. Saslow  
Hydrodynamic Theory of Spin Waves in Spin Glasses and Other Systems with Non-Collinear Orientations.
- (34) 21. C. Y. Mou, G. Nicolis and R. M. Mazo  
Some Comments on Non-Equilibrium Phase Transitions in Chemical Systems
- (35) 24. Kenji Makoshi and Toru Moriya  
Theory of Helical Spin Structure in Itinerant Electron Systems II.
- (36) 24. Toru Moriya and Kan Usami  
Coexistence of Ferro- and Antiferromagnetism and Phase Transitions in Itinerant Electron Systems
- (37) 24. F. Mancini, R. Teshima and H. Umezawa  
Order of Phase Transition between the Meissner State and the Mixed State
- (38) 26. Kazuo Ueda  
Electrical Resistivity of Antiferromagnetic Metals
- (39) 27. Atsuko Sumi  
Phase Diagram of an Exciton in the Phonon Field
- (40) 27. C. W. Gardiner and D. F. Walls  
A Generalised Landau Theory for Chemical Instabilities

プレプリント案内

- (41) 28. H. Hirakawa, S. Hiramatsu and Y. Ogawa  
Damping of Brownian Motion by Cold Load
- (42) 30. K. D. Schotte  
Description of Transport Phenomena
- (43) 30. Young-ping Pao  
Nonlinear Behavior of Linearly Unstable Magnetohydrodynamic Modes
- (44) 30. Abraham Ben-Reuven, Joshua Jortner and Shaul Mukamel  
Resonant Two-photon Spectra
- (45) 30. Abraham Nitzan, Shaul Mukamel and Abraham Ben-Reuven  
On the Impact and the Separation Approximations in the Theory of Multi-photon Interactions with Thermally Perturbed Systems.
- (46) 30. B. Muhlschlegel  
Path Integral Associated with the Fokker-Planck Equation

掲 示 板

名 古 屋 大 学 プ ラ ズ マ 研 究 所  
プラズマ計算機シミュレーション学部門  
教 授 又 は 助 教 授 の 公 募

名古屋大学プラズマ研究所  
所 長 高 山 一 男

下記のとおり、プラズマ研究所、プラズマ計算機シミュレーション学部門の教授又は助教授を公募いたします。ふるって御応募並びに御推薦くださるようお願いいたします。

記

1. 公 募 人 員

プラズマ計算機シミュレーション学部門  
教授 又は 助教授 1名

2. 内 容 の 説 明

名古屋大学プラズマ研究所は、全国のプラズマ物理・核融合研究分野の研究者のための共同利用研究所です。当研究所には、昭和52年度より附属電子計算機センターが設置され、新たに大型計算機FACOM M-190 が設備されております。

プラズマ計算機シミュレーション学部門は近年飛躍的發展を続けている プラズマ物理・核融合研究において、電子計算機によるシミュレーションの手法を中心とする研究部門です。

計算機の導入によって、単に「理論的、実験的研究における数値的处理を大量かつ速やかに遂行する」というだけではなく、計算機を駆使した物理学が、それ自身「新しい物理概念の形成を促し、新しい学問的發展への契機を与える」ことをプラズマ計算機シミュレーション学部門の研究目標としております。

当部門は昭和51年度に創設され、すでに上村鉄雄助教授と大沢幸治助手が着任しています。



掲 示 板

3. 着 任 時 期

昭和53年4月1日以前のなるべく早い時期

4. 応 募 締 切

昭和52年8月27日(土)

5. 提 出 書 類

イ) 履 歴 書

ロ) 研究歴及び研究論文リスト(主な論文については別刷3部ずつを添付のこと)

ハ) 他薦の場合は推薦書

ニ) 健康診断書又は健康に関する所見

6. 選 考 方 法

プラズマ研究所運営委員会にて行います。

7. 問 合 わ せ 先

東京大学工学部教授 関口 忠(電話 03-812-2111, 内線 6122)又は

名古屋大学プラズマ研究所教授 池上英雄(電話 052-781-5111, 内線 6546)

〃 市川芳彦(電話 052-781-5111, 内線 4564)

8. 書 類 宛 先

〒464 名古屋市千種区不老町

名古屋大学プラズマ研究所

所 長 高 山 一 男

(注:封筒に「応募書類在中」と明記し書留で郵送して下さい。)

名古屋大学プラズマ研究所  
附属電子計算機センター  
助教授及び助手の公募

名古屋大学プラズマ研究所  
所長 高山 一 男

下記のとおり、プラズマ研究所附属電子計算機センターの助教授及び助手の公募をいたします。ふるって御応募並びに御推薦下さるようお願いいたします。

記

1. 公 募 人・員

附属電子計算機センター

助教授 1名, 助 手 1名

2. 内 容 の 説 明

名古屋大学プラズマ研究会は、全国のプラズマ物理・核融合研究分野の研究者のための共同利用研究所です。附属電子計算機センターは昭和52年度に設置され、新たに大型計算機FACOM M-190が設備され、6月1日より稼動状態に入っております。

当電子計算機センターはその機能を一層充実し、全国的共同研究を発展させていくため、今回公募する助教授及び助手の方には次のようなことを期待いたします。

助教授：電子計算機システムの運用管理について十分な知見をもち、かつ、ソフトウェアの研究開発等を積極的に進めるために十分な経験と専門的知識のある方。

助 手：助教授と協力してセンターの業務を行う。

なお、応募者の専門にはこだわりません。

当センターにはすでに助手1名を含め7名のセンター員が配属になっています。

## 掲 示 板

### 3. 着 任 時 期

昭和53年4月1日以前のなるべく早い時期

### 4. 応 募 締 切

昭和52年8月27日(土)

### 5. 提 出 書 類

イ) 履 歴 書

ロ) 研究歴及び研究論文リスト(主な論文については別刷3部ずつを添付のこと)

ハ) 他薦の場合は推薦書

ニ) 健康診断書又は健康に関する所見

### 6. 選 考 方 法

プラズマ研究所運営委員会にて行います。

### 7. 問 合 わ せ 先

東京大学工学部教授 関口 忠(電話03-812-2111, 内線6122)又は

名古屋大学プラズマ研究所教授 池上英雄(052-781-5111, 内線6546)

〃 市川芳彦(052-781-5111, 内線4564)

### 8. 書 類 宛 先

〒464 名古屋市千種区不老町

名古屋大学プラズマ研究所

所 長 高 山 一 男

(注:封筒に「応募書類在中」と明記し書留で郵送して下さい。)

## 編 集 後 記

編集後記にたびたび表紙の変更に関する話を載せましたが、いろいろの事情によりもう少し先の話になりました。また出版の遅れの方もしばらく続いておりますが、なんとか恢復をめざしています。この後記にはしばしば京都の季節感を盛り込んだ話が書かれますが、読者の目に入る頃には季節はずれになっていることが普通になってしまいました。そのため春には紅葉の話題を書こうといったような意見が出る程です。いろいろの不都合はありますがその分内容の良さで挽回するつもりでいます。研究室紹介の連載もなんとか軌道にのっています。面白い企画その他で皆様の御意見をおよせ下さることを期待します。

編集長のH氏が都合により当分事務を執れないので、しばらく私がかわりをやらされることになりました。

T. T.

## 物 性 研 究

第 28 卷 第 3 号  
1977年 6 月 20 日発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL (441) 1659 (431) 4789
発行所	物性研究刊行会 京都市上京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

## 編 集 後 記

編集後記にたびたび表紙の変更に関する話を載せましたが、いろいろの事情によりもう少し先の話になりました。また出版の遅れの方もしばらく続いておりますが、なんとか恢復をめざしています。この後記にはしばしば京都の季節感を盛り込んだ話が書かれますが、読者の目に入る頃には季節はずれになっていることが普通になってしまいました。そのため春には紅葉の話題を書こうといったような意見が出る程です。いろいろの不都合はありますがその分内容の良さで挽回するつもりでいます。研究室紹介の連載もなんとか軌道にのっています。面白い企画その他で皆様の御意見をおよせ下さることを期待します。

編集長のH氏が都合により当分事務を執れないので、しばらく私がかわりをやらされることになりました。

T. T.

## 物 性 研 究

第 28 卷 第 3 号  
1977年 6 月 20 日発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL (441) 1659 (431) 4789
発行所	物性研究刊行会 京都市上京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

## 講読規定

### 個人講読

1. 会費 当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるだけ1年間分会費を御支払い下さい。  
なお新規講読の場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

#### 1年間の会費

1 st volume	2, 340円
2 nd volume	2, 340円
	計4, 680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

- 2 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。  
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
- 3 雑誌購売者以外の代理人が購売料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
- 4 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納されれば場合には、送本を停止することになっていますので御留意下さい。
- 5 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
- 6 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

### 学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol. **4,380円**、1冊**730円**です。この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。  
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上ある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

物 性 研 究 28—3 (6月号) 目次

○Introduction of A New Principle in the Theory of Magnetism Ⅲ

..... Shuichi IIDA .....	45
○「教室紹介 Ⅳ」——北海道大学——.....	91
○ニュース.....	113
○プレプリント案内.....	114
○掲 示 板——名古屋大学プラズマ研究所公募——.....	117
○編集後記.....	121

物 性 研 究 28—3 (6月号) 目次

○Introduction of A New Principle in the Theory of Magnetism Ⅲ

..... Shuichi IIDA .....	45
○「教室紹介 Ⅳ」——北海道大学——.....	91
○ニュース.....	113
○プレプリント案内.....	114
○掲 示 板——名古屋大学プラズマ研究所公募——.....	117
○編集後記.....	121